

## 継続学習センター

### 1. 部門推進計画及び継続学習センター推進計画(BSC/戦略目標と指標)

#### 1) ミッション(使命)

『我々は、全ての人々の幸福に貢献するために愛の心をもって常に最高水準の医療を提供し続けることを使命とする』

#### 2) 部門推進計画

Challenge Global Love の理念のもと、医療人としての専門知識及び技術の習得、さらに幅広い人間性の確立を目指す。

#### 3) 継続学習センター推進計画

職域を超え、職員のニーズにあった効果的な研修を実施する。

亀田メディカルセンターの持つ機能を有効に活用し、地域社会に貢献できる啓発事業を実施する。

	No	項目	KPI	算出値	現在値	目標値				
						2004年度 (実績)		2005年度 (実績)		2006年度
財	A-1	研修参加人数増加 (顧客 = 研修参加者)	職員研修参加人数	継続学習センター主催研修参加総人数(BLS含)	2,300人	2,530人(前年+10%)	2,070人	2,277人(前年+10%)	2,784人	3,062人(前年+10%)
			BLS講習会参加人数	参加合計人数	130人	143人(前年+10%)	227人	249人(前年+10%)	253人	278人(前年+10%)
			介護職研修参加人数	参加人数	0人	80人	57人	80人(前年+23%)	195人	205人(前年+10%)
			2級訪問介護員研修申込人数	研修申込人数	60人	65人(前年+5%)	79人	70人(前年+5%)	81人	86人(前年+5%)
			救急災害ボランティア講座申込人数	講座申込人数	48人/年	55人(前年+7%)	51人	56人(前年+5%)	53人	58人(前年+5%)
	A-2	収入増加								
A-3	コスト削減									
A-4	利益増加									
A-5	新規事業の推進									
A-6	支出の適正化									
顧客	B-1	サービスの差別化	1級修了試験	レポートA評価	2人	5人(前年+3人)	4人			
			2級修了試験	テスト平均点	65.6点	70点(前年+5点)	74.5点	75点(前年と同様)	71.8点	75.8点(前年+5点)
	B-2	情報開示	訪問介護員研修の広報エリア拡大	研修案内発送箇所	14箇所	16箇所(前年+2箇所)	14箇所	16箇所(前年+2箇所)	15箇所	15箇所(前年と同様)
			救急災害ボランティア講座広報エリア拡大	講座案内発送箇所	14箇所	16箇所(前年+2箇所)	25箇所	25箇所(前年と同様)	25箇所	25箇所(前年と同様)
			BLS講習会の広報エリア拡大	講座案内発送数	52施設	52施設+3大新聞	0	52施設+3大新聞	0	52施設+3大新聞
B-3	マーケティング									
客	B-4	顧客満足度向上	訪問介護員講師アンケート調査	質問「内容のわかりやすさ」	4.2(5段階評価)	4.3(前年+0.1)	4	4.5(前年+0.5)	4.1	4.2(前年+0.1)
			ポリテク委託生の就職率	就職人数/ポリテク生人数	85%	90%(前年+5%)	78%	82%(前年+5%)	75%	80%(前年+5%)
			救急災害ボランティア講座アンケート調査	質問「講座を受講し満足できたか」	未実施(5段階評価)	0.1	4.5	4.6(前年+0.1)	4.5	4.6(前年+0.1)
B-5	ブランドイメージ確立									
内部	C-1	医療の質・安全性向上								
	C-2	医療の効率性向上とプロセスの継続的改善								
	C-3	要員の安定確保	BLSインストラクター人数確保	インストラクター人数	13人	13人	13人	15人(前年+2人)	18人	18人(前年と同様)
	C-4	施設整備								
	C-5	医療整備・機器の管理、更新と最先端医療機器の新規参入								
	C-6	統合医療情報システムの再構築								
	C-7	地域連携	地域医療従事者のBLS講習会	参加人数	5人/年	10人/年(前年+5人)	16人	20人/年(前年+4人)	0	25人/年(前年+5人)



## 2. 2005 年度評価

財務	A - 1 : 研修参加人数	職員研修は参加申込みが目標を大きく上回った。理由はコーチング勉強会を開催したこと（参加者 544 名）新たな研修を取り入れたこと（シンポジウム・クレーム対応）要望による研修の追加などが挙げられる。 B L S 講習会や訪問介護員研修、ボランティア養成も人数を伸ばした。
顧客	B - 1 : サービスの差別化	訪問介護員研修は亀田独自のペーパー試験を導入しており、その平均点は 70 点以上と高い。また、受講者も面接試験を実施して厳選している。 更に受講中の態度・レポート提出及びチェック・実習レポートの指導・講義以外の介護技術指導等、多岐にわたって綿密な指導を行っている。 現場からは亀田の修了者と他との違いの声も聞かれるようになった。
	B - 2 : 情報開示	訪問介護員研修は日経新聞への広報を追加した。B L S 講習会は院内参加者を受けるのが精一杯で、案内はしなかった。2006 年度は実施方法を検討し、開示の方向で活動する。
	B - 4 : 顧客満足向上	満足度確認のため、講義・講座・研修の修了後にアンケート調査を行い、講師に問題がある場合は、フィードバックして改善に努めた。
内部プロセス	C - 3 : 要因の安定確保	インストラクターの確保は、B L S 5 名、救急災害ボランティア 4 名を新たに養成した。4 月現在、B L S 18 名、ボランティア 15 名のインストラクター数である。
	C - 7 : 地域連携	B L S 講習会は、B - 2 で述べた通りで受講者がいなかった。 介護職のレベルアップ研修は予定人数を大幅に上回った。その要因は 訪問介護員に限定せず、介護福祉士を含めて介護職としたこと、介護福祉士受験対策を実施したこと、研修テーマの拡大等が考えられる。
学習と成長	D - 3 : 教育の充実	目標数値は減少したのものもあるが、研修の実施は高くなった。費用のかかる研修の導入には限界もあったが、病院の現状に合わせて、年間計画に追加してクレーム対応研修を行い、参加者からは好評を得た。また、管理・指導者研修も要望に応じて追加した。 B L S 講習会の合格率は高くなった。事前学習の成果を評価するため、4 月からプレテストを実施したことが効を奏していると思われる。

## 3. 業務紹介

当部署は職員の横断的な教育・訓練及び地域の人達への研修を実施している。4 名のスタッフと各部署の職員を講師やインストラクターとして協力を得、計画を展開している。

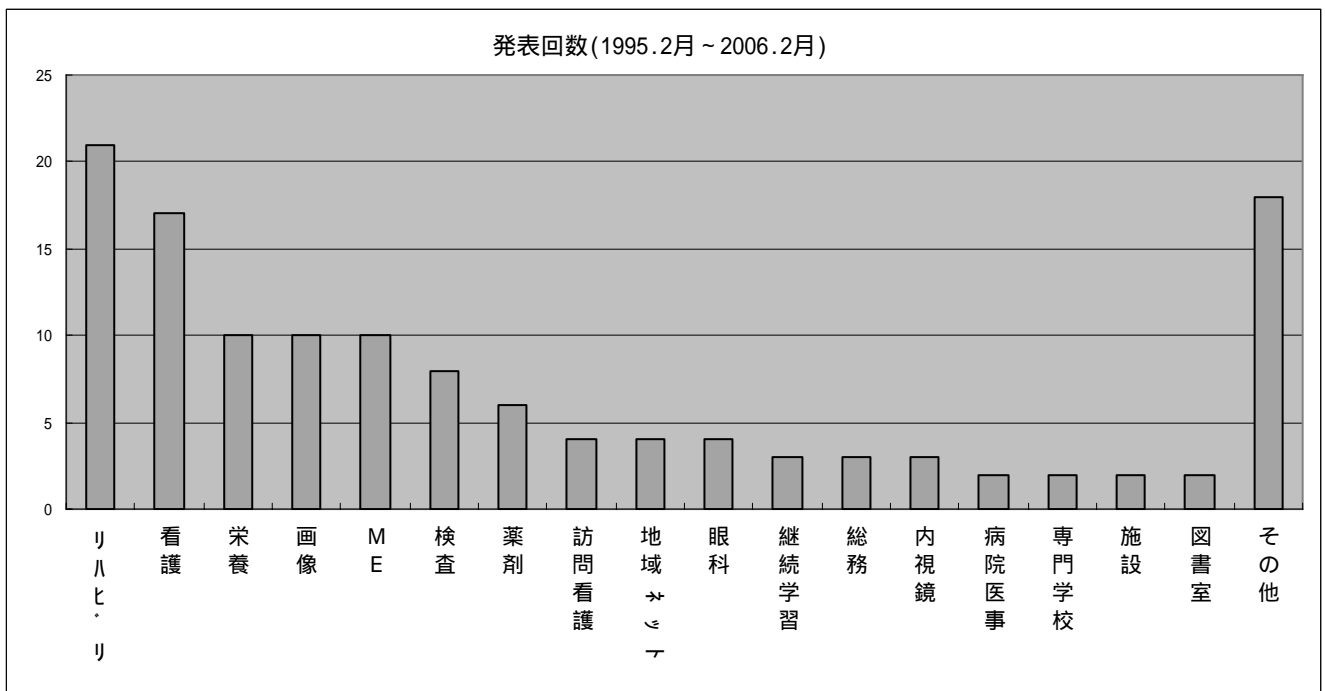
## 4. 職員研修年間実施状況

月	日	テーマ(参加人数)	月	日	テーマ(参加人数)	
4	1・2	・新採用者オリエンテーション(282・275)	10	12	・文章講座 (15)	
	18	・職員セミナー:BSC の概要(111)		20・21	・接遇研修(21)	
5				25	・シンポジウム(185)	
	10	・新人フォロー研修:感染予防(64)	11	5・18	・コーチング勉強会 A(14)	
	11	・コーチング勉強会フォロー(7)		7・19	・コーチング勉強会 B(27)	
	17	・医療安全管理の基本(94)				
	24	・職員セミナー:災害医療(155)				
	30・31	・新人フォロー:チームワーク(45・47)				
	10・31	・コーチング勉強会 A(15)				
12・30	・コーチング勉強会 B(23)					
6			12	9	・文章講座 (15)	
	3・8・9	・新人フォロー:チームワーク(44・46・49)		10	・コーチング勉強会フォロー(5)	
	10	・職員セミナー:鉄蕉会の現状と戦略デザイン(79)		11	・院内研究発表会:画像・検査・B7・リ八病院(138)	
	21・22	・ビジネス・コーチング(20)		18	・交流分析とコミュニケーション(19)	
	27	・職員セミナー:性差医療(77)		30	・文章講座 (15)	
	9・27	・コーチング勉強会 A(17)		1・16	・コーチング勉強会 A(13)	
8・28	・コーチング勉強会 B(25)	4・18	・コーチング勉強会 B(25)			
				8	・職員セミナー:放射線被爆(162)	
				20	・管理・指導者研修:問題解決法(23)	

7	7 11 20・21 26 13・28 6・10・18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DPCの現状と将来(105)</li> <li>・コーチング勉強会フォロー(11)</li> <li>・接遇研修(21)</li> <li>・管理・指導者研修:組織とリーダーシップ(24)</li> <li>・コーチング勉強会A(16)</li> <li>・コーチング勉強会B(24)</li> </ul>	1	11 11・18 10・23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング勉強会フォロー(25)</li> <li>・コーチング勉強会A(25)</li> <li>・コーチング勉強会B(27)</li> </ul>
8	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技研修:移乗(27)</li> </ul>	2	8 9 15 21 1・16 3・21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理・指導者研修:リーダーシップ・部下育成(21)</li> <li>・院内研究発表会:治験・ME・診療事務・病院リハ(78)</li> <li>・コミュニケーション・スキル:クレーム対応(24)</li> <li>・管理・指導者研修:問題解決法フォロー(20)</li> <li>・コーチング勉強会A(19)</li> <li>・コーチング勉強会B(28)</li> </ul>
9	8 13・14 16 20 27 7・22 5・20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全:事件事例分析手法(32)</li> <li>・ビジネス・コーチング(20)</li> <li>・コーチング実践発表会(55)</li> <li>・管理・指導者研修:部下育成(32)</li> <li>・職員セミナー:スピリチュアルケア(65)</li> <li>・コーチング勉強会A(11)</li> <li>・コーチング勉強会B(32)</li> </ul>	3	8 10 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング実践発表会(41)</li> <li>・コーチング勉強会フォロー(16)</li> <li>・コミュニケーション・スキル:クレーム対応(21)</li> <li>・コーチング勉強会A(17)</li> <li>・コーチング勉強会B(26)</li> </ul>

### 5. 院内研究発表会

月	部署名	テーマ	発表者
10月	画像診断室 臨床検査室 看護部・B7 リハビリテーション室	フィルムレスに対する画像診断室の取り組み ARTセンター施設紹介 「できるADL」と「しているADL」の差に関して 亀田リハビリテーション病院の挑戦	齋藤雄一 鈴木裕美 滝口智子 島袋壮仁
2月	治験管理センター ME室 診療部事務室 リハビリテーション室	治験に参加した患者さま対象のアンケート結果報告 植込み式不整脈治療機器の安全管理について Privilege(診療科手技評価)導入における取り組みについて報告 心臓リハビリテーションチームの紹介	土門静子 熊井良一 山崎達夫 高橋文久



6 . BLS 講習会受講者数 (1990 ~ 2005 年度)

年度	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	計
開催数(回)	5	21	5	9	15	17	17	17	13	13	10	13	13	16	16	15	215
受講者数(人)	66	198	26	57	122	167	178	162	127	112	88	135	227	238	227	228	2,358

別途リニューアル：4回実施(25名)

7 . 地域社会に向けて

1)訪問介護員 2 級養成研修

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	計
開催数(回)	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19
修了者(人)	15	29	47	42	36	34	55	39	44	39	380

2)介護職研修

年度	2004	2005	計
開催数(回)	2	10	12
修了者(人)	57	195	252

3)ポリテク委託ホームヘルパー養成科 (雇用保険受給者対象)

年度	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	計
開催数(回)	2	2	2	2	2	2	2	14
修了者(人)	22	21	18	22	27	17	25	152
就職率(%)	58.3	56.3	50	74	92.3	81	75	70

4)救急災害ボランティア養成講座

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	計
開催数(回)	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19
修了者(人)	15	29	47	42	36	34	55	39	44	39	380

文責：藤司京子